

石綿含有建材除去工事について

平成31年2月18日

神戸薬科大学

この度、新棟の建設計画に伴い1号館への仮移転工事が必要な為、工事に先立ち事前調査したところ、天井吹付材に石綿が含有されていることが判明しました。この為、同材を使用している部屋について空気環境測定による飛散状況を調査した結果、下記に示すWHOの環境保健クライテリアに照らして十分低い数値(定量下限値0.5本/L以下)でした。

しかしながら、今後、地震による剥離などにより石綿濃度が増加することも想定し、同材を使用している部屋について本年5月末までに撤去します。(使用しない部屋は除く)

室内環境：WHO 環境保健クライテリア（1986年）

「世界の都市部の一般環境中の石綿濃度は1～10本/L程度であり、この程度であれば、健康リスクは検出できないほど低い」

問合せ先

神戸薬科大学 総務課

078-453-0031